

日経平均株価

5万0491円87銭

▼536円55銭(前日比)

TOPIX

3362.56

▼35.65(前日比)

# 株式市場新聞

www.marketpress.jp

2025

12/8

月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



g o o g l e の A I が急成長  
音声、テキストや動画を区別して、AIと異なり、他のAIと競争するかの如きは、AIも競争により普及が加速す

I G o o g l e が A I の開発で一気に先頭に立つたのは10年以上開発に費やしてきた自社チップの機能が大きく向上し、これを「G e m i n i 3」に活用して、「G e m i n i 3」は、AIの機能が大きく向上し、これを「G e m i n i 3」といっており、他

## 三井金やNEC、村田製など

別なくひとつの脳で学習し

11月18日にアルファベット傘下のG o o g l e が発表した最新 A I 「G e m i n i 3」の登場によつて独走状態と思われていた「O penA I 」の成長性に疑惑が生じている。NY市場ではアルファベット株が急伸する一方でO penA I で恩恵を受けていたエヌビディア株が急落し、多額の出資を行つていたソフトバンクグループ(9984)も大幅な調整を余儀なくされた。AI関連銘柄が選別されにくなかで、G o o g l e に関連する銘柄に注目したい。

A I で一躍トップに躍り出る

G o o g l e は自社専用の海底ケーブル網を構築しており、そのパートナーはN E C (6701)。G o o g l e と共同で「C

o r a l A c c e s s r a t o r M od u l e」という「O penA I 」のどちらが勝者になつても恩恵を享受するが高性能チップを載せる基板向け(キヤリア付極薄銅箔)世界シェア約9%を誇る三井金属

I モジュールを開発している村田製作所(6981)やG o o g l e と資本業務提携しているn o t e (5243)が注

## 日経平均の日足チャート



marketpress



# エーザイが急反発 レカネマブの優位性高まる

# エーザイが急反発

## レカネマブの優位性高まる

## 11月第4週の動意銘柄

病治療薬「LEQE  
MBI IQLIK」  
けるアルツハイマー  
への優位性が高まる  
との期待が高まつた

コンヴァノ(6574)が5日ぶりに反落。21日の取引終了後、26年3月期の業績予想について、連結売上収益で123億7000万円から149億500万円

る一方、営業利益で  
65億350万円か  
ら59億9000万  
円（同44・3倍9  
へ下方修正した。新  
規のB T C 取得に合  
わせて実施していく  
P U Tオプション売  
り（受取プレミアム）  
のインカム収入が今  
後は新規B T C 取得  
スピードが減少する  
と見込むため。

メディ総研は優待

メディア総研

アサカ理ニアース規制

26日、アサヒ理研

56) なども高い。

キオクシア売却報道

56) なども高い。

と米ブルームバーグ  
通信が報じたことを  
受けて需給悪化懸念  
が台頭した。

特設サイトでこだわりのグルメ、家電製品、体験ギフトなど500種類以上の商品から交換できる優待ポイントを進呈する株主優待制度の導入を発表した。

正直じいさんの株で大判小判

前週の東京市場は続伸しました。日経平均は前の週から237円上昇しています。植田日銀総裁の講演を受けて12月の利上げ観測が強まり、週初こそ大幅安でスタートしましたが、その後は買戻しに下げ渋ボテイクスしたことで、など関連銘柄が軒並み高になり、21日には5万1000円台を回復しました。ているもの株に買いが高値を更新し、マ銘柄の押し目拾い感から年末高に期待を

つなげるかたち  
Cでの0・5%  
おり、出尽しの  
反転への注意は必要で  
う。ただ、押し目があれ  
イジカルA I やロボニ  
スなど新しいテーマ銘  
柄の拾い場になると見  
ています。  
**花咲翁**  
**新テ**



上、企業価値の拡大を図るため。

同意する意向を表明したと伝わった。安

岡野バルブ製造

のうち首長の同意表  
明は泊村に続き2例

北海道電力

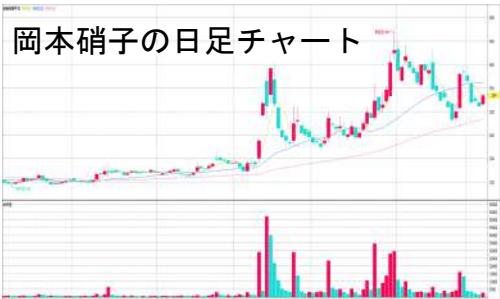
目次  
販売再稼働への期待から助川電気

3号機について、  
海道神恵内村の高

東京エネ시스（19  
45）など関連銘柄

昌幸村長が再稼働

は買いか庄かうた



岡本硝子（<sup>7746</sup>）が大幅続伸、ストップ高まで買われた。ガラス偏光子製造設備の設備投資について延期を含めて検討中であることを発表している。

（<sup>7746</sup>）が大幅続伸、ストップ高まで買われた。ガラス偏光子製造設備の設備投資について延期を含めて検討中であることを発表している。

## ガラス偏光子製造設備発注

# 岡本硝子ストップ高

要な設備の発注をした。しかしながら、設備の納入が26年11月頃になるため、それまでは、現行設備での生産増（<sup>6</sup>割強）で需要増に対応する予定。

タカショイ赤字拡大  
（<sup>7590</sup>）が大幅反落。  
年1月期の第3四半期累計決算

赤字（前年同期2億4600万円）は、最終損益で需要増に対応する予定。と赤字が拡大したこととが嫌気された。税負担が増加したこと

山口FG自社株買い

26年1月30日付でみずほ証券（<sup>9412</sup>）が急伸。スカパJSAT格上げ

間は11月27日（土）まで取得期終了。または150億円で取得権の設定を発表した。行済株式総数（<sup>4・73%</sup>）に対する割合（<sup>841</sup>）が大幅に上限（<sup>841</sup>）を超えた。自らの設立を発表した。山口フィナーチャルグループ（<sup>841</sup>）が大幅に上限（<sup>841</sup>）を超えた。自らの設立を発表した。山口FGは、自社株買いを実施する方針を表明した。

ヒューマンメイドの初値公開価格10%上回る

E（<sup>456A</sup>）が東証グロース市場に新規上場、公開価格30円を9・9%上回る。婦人服、子供服など各種衣料繊維製品と装飾雑貨の製造、販売ほかを行なう。紳士服、婦人服、子供服など各種衣料繊維製品と装飾雑貨の製造、販売ほかを行なう。

券が投資判断「買い」を継続、目標株価を1500円から2200円に引き上げた。防衛・非防衛とともに快調で来期以降の利益成長への期待をしている。

## 個人投資家向けIRセミナーin大阪



**新田ゼラチン（4977）**

Connect and Create

2026年2月14日（土）参加費無料

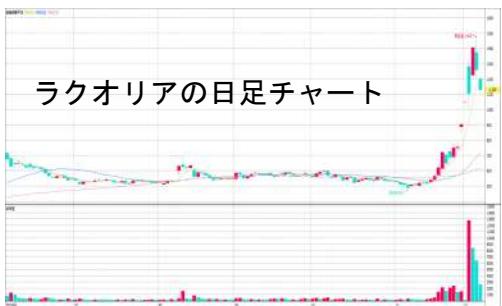
株式評論家 高野恭壽氏の株式講演会



参加申し込みは [info@marketpress.jp](mailto:info@marketpress.jp) から！

主催：株式市場新聞社 場所：大阪産業創造館  
6階会議室（堺筋本町駅[出口1]徒歩3分）  
13時開場、13時30分開演





## ラクオリアの日足チャート

# ラクオリアがストップ高

アステラスと新規標的を追加

2つの標的を追加することで合意したと発表した。アステラスから一時金4億円を受け取るが、さらに開発・申請・承認、販売などの進捗

週明け1日、三菱UFJフィナンシャル・グループ（8306）や三井住友ファイナンシャルグループ（8316）を筆頭とするメガバンク

やりそなホールディングス（8308）など銀行株が総じて買われた。植田日銀総裁が「利上げの是非について適切に判断したい」と講演で

までの円高とともに  
銀行も買われた。

株と新株予約権の発行プログラムを発表したことで稀薄化が懸念された。米機関投資家ハイツ・キヤピタル・マネジメントが運用するC.V.I.インベストメントを割当予定先に26年3月までに新株と新株予約権をそれぞれ4回ずつ発行、新株

**B R A N U**の初値  
B R A N U（4600）が東証グローバル市場に新規上場、公開価格980円を68・9%上回る1655円で初値が生じた。同社は中小建設事業者に特化した各種ITサービスの提供などをを行う。

# 銀行総じて買われる

12月第1週の動意銘柄

公開価格69%上回る

## データセクション (3905)が乱高下。 26年3月期の連結業績予想について、

## 中越パは増配と中計評価

データセク乱高下

四庫全書

ユニチカ（3102）が10連騰、2年3月期は連結営業利益で前期比28・2%増の75億円を見込むことが引き続き好感された。急騰したとはいえば00円処の株価には値頃感もあるようだ。

営業利益を31億7  
億900万円から5  
億9600万円の  
赤字)に大幅に下方  
修正した。GPUサ  
ーバー追加受注で、  
ロジエクト売上が拡  
大するが、稼働後ず  
れと投資負担が利益  
を下押しする。

に応じて最大で150億円を上回るマイルストンを受け取る。

売上高を164億1  
900万円から34  
8億1000万円  
(前期比11・8倍)

### 注目はFOMC後のマーケット

先週の東京株式市場は続伸し、TOPPIXが最高値を更新しました。また、日経平均も11月半ば以降に上値が押さえこまれた25日線を突破。このことで、11月4日の日経平均最高値からの調整局面を脱したものと思われます。懸念材料は日本の長期債が売り込まれていることです。10年債利回りは1.9%台へと上昇し、2008年以来の水準となりました。来週18～19日の日銀会合での利上げ確率が高まりました。

さて、今週は9日～10日に米連邦公開市場委員会(FOMC)が開催されます。ほぼ0.25%の利下げが行われると思われますが、利下げ期待で上げてきたNY株式が材料出尽くしになるのかどうかが注目点でしょう。また、その場合にドル円が今の水準を維持できるのかどうか。

円高進行となるならば内需の輸入関連銘柄に資金が流れることでしょう。

日々勇太朗



(6954)が急伸、年初来高値を更新した。エヌビディアと協業し、人工知能(AI)技術により自律的に作業を行う産業用ロボットの「ファジカルAI」を推進すると発表したことなどが材料視された。アブリケーションでエヌビディアの最先端のロボット向け組み込みコンピュータやAIインフラを使用してロボティクス・シミュレーション・

## アナク急伸し新値

エヌビデイアとフィジカルAI

ツールに正式対応するという。

大黒屋ストップ安

**大黒屋ホールディングス**(6993)が

# SBG4日ぶり反発

# OpenAI「コードレッド」宣言

# SBG4日ぶり反発 OpenAI「コードレッド」宣言

ストップ安。26年  
3月期 第2四半期  
(7~9月) 決算での  
最終赤字縮小や「A  
Iによる自動買取才  
ファー」などを材料  
に上値追いが続いた  
ようだが、急ピッチ  
な上昇による警戒か  
ら、上値追いが止ま  
ると短期的な利益確

定売りから値を崩す  
展開になつた。

600円へ大幅に引き上げたことが買い手掛かりになつた。2年3月期の連結営業利益は1000億円大台に乗せ(25年3月期実績812億4100万円)の可能性を指摘しており、26年3月期予想は上振れが期待された。

治療薬の併用療法が有効ながん患者の選択方法、レチノイドとがん治療薬との併用医薬に関するもの

日本新薬ストップ高

方修正

今期中に契約締結に至らない見通し。

た。連結子会社テム  
リックが権利を有す  
るタミバロテンの用  
途に関して、米国で  
特許査定を受けたこ  
とを再び材料視。合  
成レチノイドとがん

4日、日本新薬（一  
516）がストップ申  
Capricor社  
が米国で開発中のC  
A P - 1002につ  
いて、デュシェンヌ  
型筋ジストロフィー  
患者を対象とした臨  
床第3相試験の肯定  
的なトツプラインデ  
ータを発表した。米  
国で承認された場合  
米国子会社のN S P

h a r m a が販売・  
販促活動を実施する  
予定で、早期上市と  
今後の収益貢献を期  
待した買いを集めた。

免疫生物利食いから投げ

を受けたと発表したことを感じし、12月1日に3820円まで急騰したが、急速に止まるといが定売りが投げに代わり値を崩した。同製品の導入で患者に負担がかかる検査（内視鏡検査や穿刺・ドレナージ術など）を大幅に低減できる。

# 高野恭壽の 株式情報 これでどや!!



株式市場新聞の名物コーナーが復活！

円まで戻  
1万82  
終えまし  
がヒト型  
ロボット  
に応用す  
ることで、  
産業用、  
家庭用に

方で内需系も日本ハム(282)が高値から調整が続いていまして、拾うたので、タイミングが近づいたと思つています。

**高野恭壽**(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞  
大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て  
株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タ  
カさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジ  
オに出演。「株式投資30カ条」など著書も。

公式ホームページ  
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>



政府はロボティクス分野に関する大統領令を来年発出することを検討していると、米政治メディアのポリティコが報じた。NY市場でもアイロボットなどが急伸し

# 高み並み軒テクスボロ

## 米大統領令発出報道が刺激

（2901）がストップ安。関東財務局に提出した25年8月期の内部統制報告書で開示すべき重要な不備があり、財務報告に関する内部統制は有効でない旨を記載したと発表したこと。これが引き続き嫌気された。10月には997円まで急伸したことから、反動の

## ウェルディ内部統制不備

公開価格42%上回る

UMCエレがストップ高

イビデンが3連騰  
シンガポールGIC大量保有

ており、出遅れ感からヒーハイスト（6433）が連続ストップ高に買われた。

## 相場展望



光世証券 エグゼクティブ・マネージャー

西川 雅博 氏

11月以降は米国でA.I.相場の騰勢に陰りがみられ、日経平均はボラタイルな動きを余儀なくされた。ソフトバンクグループは10月29日の高値から11月25日の安値まで1カ月弱で1万3000円近く急落している。同期間、日経平均の下落に対して1銘柄で値幅2500円以上、率では60%以上上のマイナス寄与度である。

N.T.倍率は日経平均の高値とほぼ同時に移行してさらに低下するとみている。個別株の投資判断には日経平均の乱高下に惑わされない冷静さが必要だろう。今日は米国で利下げ期待、日本では利上げ観測が強まっている。正反対の動きだが、今のところ為替の反応は限定的だ。日米共に事前に市場との対話がなされており、サプライズ反応はなさそうだ。米国では景気・労働指標に若干弱含みます。

NT倍率は日経平均の高値とほぼ同時に移行してさらに低下するとみている。個別株の投資判断には日経平均の乱高下に惑わされない冷静さが必要だろう。今日は米国で利下げ期待、日本では利上げ観測が強まっている。正反対の動きだが、今のところ為替の反応は限定的だ。日米共に事前に市場との対話がなされており、サプライズ反応はなさそうだ。米国では景気・労働指標に若干弱含みます。

個別では住友金属鉱山（5713）、三菱重工業（7011）、野村ホールディングス（8604）など。

# TOPIX型に移行

## 高市政策関連の押し目買い

みの動きがみられる一方、企業業績は好調で景況悪化懸念はさほど強まっていない。

来年5月のF.R.B議長後任人事を控え、将来的な金融緩和期待が株価下

支えの背景となりそうだ。ただ、実際の利下げペースは緩やかな方が株式市場にとつて良好な環境と考える。もしパウエル氏の任期中に連続利下げに踏み切らざるを得ない事態があるならば、景気後退リスクが高まつたとして要注意だろう。

日銀は24年3月に17年ぶりの利上げ以降、24年7月、25年1月と計3回の利上げを実施した。この間、10カ月の日経平均は概ね保ち合い相場だったが、いずれも利上げ後、一時的な大幅調整に見舞われている。特に2回目と3回目は急激な円高を伴いながらの急落相場となつたのは記憶に新しい。

利上げ観測を前に警戒が働くのは当然だろう。ただ、今回は過去2回の急落時に一気にV字回復した経験と高市新政権への大きな期待感があり、そうした大幅調整は避けられるとみている。

来春にむけてのメインシナリオは、賃上げ動向と物価対策の効果、成長戦略の具体策などを見極めながらのじり高相場だろう。ショートポジションが積み上がれば意外高もあり得る。

## 購読会員募集中！！



デイトレ候補銘柄毎日配信！！



株式市場新聞

[www.marketpress.jp](http://www.marketpress.jp)

# チャートから読む騰落銘柄

THK(6481)



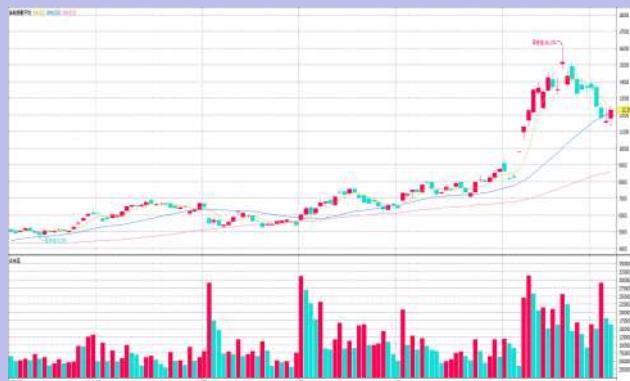
11月19日に3761円まで急落したあとに急速に戻す動きで12月4日には25日線と75日線を回復し、10月21日の最高値4464円奪回も視野に入る。工作機械の直動案内機器での高シェア評価。

村田製作所(6981)



11月4日に付けた年初来高値3544円から、25日線割れまで下げるスピード調整完了。5日線をフォローに出直る。日足陽転のあと上値志向を強めており、直近高値奪回から実質最高値3816円を目指す。

日東紡(3110)



11月20日に1万6150円の最高値を付けたあとは利益確定売りに値を消し、25日線を割り込む場面も。AIブームを追い風とした高機能ガラスの生産増強も織り込み済で、42万株の買い残も重し。

ユニ・チャーム(8113)



大勢下降トレンドのなか、5日線に上値抑えられ下値模索続く。アジア市場飽和で成長鈍化、日中関係悪化による中国販売への影響から足もとの業績懸念強い。積み上がった信用買い残が重荷で一段安を警戒。

※チャートは日足

いた百貨店の閉店など、話題も聞くがこれも今回の騒動以前から流れている噂。ネガティブな報道には過剰に反応せず冷静になつて行動したい。



## New product

**不二家 プレミアムルック「あまおう苺」**  
素材にこだわったワンランク上の新商品



2日から発売した。  
プレミアムルック(あまおう苺)パウチ ソースとガナッシュに福岡県産「あまおう苺」を使用したジユーシーで甘酸っぱい味わいが愉しめる大粒ルックチョコレート。あまおう苺ソースとあまおう苺ガナッシュを苺風味のチョコレートで包み込んだこだわりの3層仕立てで仕上げている。あまおう苺の特徴である「赤い」色合いに仕立てており、チョコレートの表面にハートの柄が入っていればHappy!の仕掛けもある。

不二家（221  
1）はロングセラ  
ーチヨコレート  
「ルック」から素  
材にこだわったワ  
ンランク上の「ブ  
レミアムルック」  
の新商品として、  
「ブレミアムルッ  
ク（あまおう苺）  
パウチ」を12月

2日から発売した。  
ソースとガナッシュ  
苺」を使用したジ  
いが愉しめる大粒  
おう苺ソースとあ  
味のチョコレート  
層仕立てで仕上げ  
である「赤い」色  
コレートの表面に  
Happy!の仕

# 星野三太郎の 株街往来

## ～今更ながらの中国リスク～

高市発言を契機に中国が自国民への渡航自粛を行うなど様々な圧力を行つてゐる。これを受けて中国航空会社の減便や団体客のキャンセルが相次ぎ、ホテルなど観光業が危機的状況とのニュースが連日流れてゐるが、特定の国の観光客に依存し過ぎるのは如何なものかと感。株式投資でいえば

## 月面探査機け運転支援

パナソニック HD

## 三菱重工と共同開発を開始



## 実証実験の様子

宇宙航空局は、システムの共同開発を開始した。

パナソニックホールディングス（6752）傘下のパナソニックアドバンストテクノロジーは、三菱重工業（6011）と月面探査ローバ向け

研究開発機構) 宇宙探査イノベーションハブとの「CG画像と少量データを用いた月面探査ローバ向け運転支援AIの試作」に関する共同研究の成果を活かしたもので、LUXPEXローバ地上システムへ適用試作し、オペレータの月面環境認識を支援することで、ミッションの妨げとなる危険領域を回避し、安全な運転を支援するシステムの実現を目指す。

LUXPEXローバは月面を移動しながら複数の地点を探査し、どの場所にどの程度の量のどのような状態で水が存在しているのかを調べる計画。

潮流

# 高圧経済で高成長へ

## 政府が主導して将来へ積極投資

mark**E**t / bAnk

競争促進とグローバル化を目指す市場原理主義が新自由経済だ。これからは高市政権は官民連携の成長投資と需要拡大を目指し、政府が主導して将来への積極投資を行う高圧経済だ。これが経済産業政策の新機軸となる。

緊縮財政から積極財政に転換した。政府が積極介入することで民間投資・イノベーションを促す。需給両サイドからあらゆる政策を総動員する。また、国債は永続的に「借り換え」によって管理されており、国民の税金で返済していない。さらに、日本の財政表示は、世界の先進国と比べて独特な構造を持つ。この構造が国民に誤解を与え、財政政策の柔軟性を阻害している。

米国の連邦予算は「裁量的支出」と「義務的支出」に明確に区分されている。裁量的支出とは年度ごとに議会が裁量で決める支出であり、財源を確保する必要はない。国防費、教育、研究開発、インフラ投資などが含まれる。義務的

世界の経済政策そのものが転換期を迎えている。政府の関与を最小限に留め、

支出とは法律で給付が義務づけられている支出で、社会保障費や医療保険などが該当し、財源の確保が必要となる。

一方で日本的一般会計は、裁量的支出と義務的支出を区別せずにまとめて表示させてい

る。その結果、政府支出全体が過大に見える構造になっている。日本では、国債の利払い費や償還費が一般会計の支出として計上されているが、多くは日本銀行などを通じて国庫に戻ることになる。つまり、実際にはない資金も「支出」として、全体に対して24%分が国債費用として表示されるため、財政状況が過度に厳しく見えるようになっている。

一般会計の支出を膨らませることで、国民に増税を受け入れさせやすくしているのだろう。日本的一般会計を米国型に合わせ、裁量的支出は財源不要として別表示し、義務的支出はネット利払いで計上とすべきだ。この方法であれば、技術投資や研究開発、インフラ整備などの成長投資の余地が正しく認識され、積極財政の正当性を社会的に納得させることが可能になる。

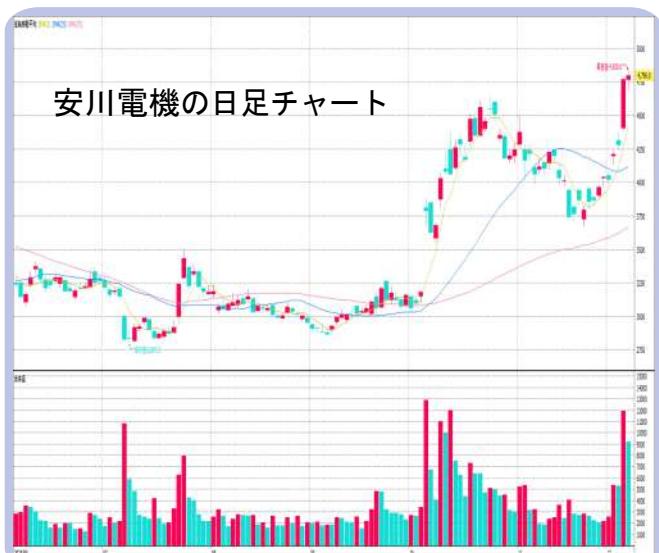
潮流銘柄はファナック（6954）、安川電機（6506）、住友重機械工業（6302）。

1999年2月日本初  
にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2024年3月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く多くの資産運用コンテストに1万人超の参加者の第1回S1グランプリを行った。現在、個人投資家に投資情報サービスを行っている。



岡山憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール

# 裁量的支出で柔軟性を





敏腕先物ディーラー

## ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使し、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



FOMCの次は日銀会合

間配当金の再分配が相場を支えていたようだ。高市政権の積極財政政策により国債増発で長期金利の上昇が続いているが、今のところ株価には大きく影響していないようだ。市場の関心は今週の米FOMCの結果であろう。今回は0・25%の利下げが見込まれ市場も織り込んでいると思われる。

# 今年最後のメジャーSQ週

## 今回もコール絡め踏上げ？

翌週には日銀の政策決定会合が控えるが、こちらも市場は0・25%の利上げを織り込んで動いているが、その後も投資意欲が衰えないか見極めたい。今年最後のメジャーSQ週である。今年はSQ週と同様にコールが多めの動きを見たが、かく相踏みで終盤にかけて上昇したが、これは動きが遅れており、今週はXTOPOもまたに現れ、出Pが多めの動きを絡めて上昇する。今週はIOTOPOも、かく相踏みで終盤にかけて上昇したが、これは動きが遅れており、今週はXTOPOもまたに現れ、出Pが多めの動きを絡めて上昇する。

## 日経225先物日足チャート



ボラティリティの高い週となる。チャートでは5日移動平均線（4万9998円）、25日移動平均線（5万229円）を上回って引けており、ボリンジャーバンドの△2σ（5万1600円）を目指す展開も期待出来よう。一方、下値は11月19日の安値（4万8235円30銭）から切りあがる右肩上がりの下値トレンドライン（4万9700円）が強いサポート線になると思われる。（ハチロク）

# 個別物色へ移行

OpenAIへ集中投資するソフトバンクグループ（9984）へのリスク回避の売りが波及し、日経平均を4万800円台前半まで調整させた。しかし、「米政府がロボティクス分野に関する大統領令を来年発出することを検討」と伝わると、ニューヨーク市場でのアイロボットなどの急騰とともに

## 当面のスケジュール

- ・ 8 日 10月毎月勤労統計調査  
7-9月期G D P改定値  
11月景気ウォッチャー調査  
中国11月貿易収支
  - ・ 9 日 11月マネーストック  
11月工作機械受注  
F O M C (~10日)  
米10月 J O L T S 求人件数
  - ・ 10 日 11月国内企業物価指数  
パウエル F R B 議長会見(経済見通し発表)
  - ・ 11 日 10-12月期法人企業景気予測調査
  - ・ 12 日 メジャー S Q 算出日
  - ・ 15 日 12月調査日銀短観  
10月第三次産業活動指數  
中国11月小売売上高、中国11月工業生産、中国11月都市部固定資産投資
  - ・ 16 日 12月 S & P グローバル日本製造業 P M I  
12月 H C O B ヨーロッパ製造業 P M I  
米10月小売売上高、米11月雇用統計  
米12月 S & P グローバル米国製造業 P M I
  - ・ 17 日 11月貿易統計、10月機械受注  
11月訪日外客数  
E C B 定例理事会 (~18日)
  - ・ 18 日 日銀金融政策決定会合 (~19日)  
ラガルド E C B 総裁会見  
米11月消費者物価、米12月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数
  - ・ 19 日 植田日銀総裁会見  
11月消費者物価  
米11月中古住宅販売件数

# 個別物色へ移行

## 日経平均は5万円の値固め

これに加えて11月の米国P.M.Iの悪化に加えて1月のA.D.P雇用統計もネガティブな内容だったことを受け、次回F.O.M.Cでの利下げ期待の高まりも米国株高を支援している。半面、日銀の利上げ観測から長期金利が上昇しているが現状ではネガティブ材料にはなっていない。

今週は9日からF.O.M.Cで10日にはパウエルF.R.B議長の会見が予定されてい



先月亡くなつた母が夢に出てきた。昼間うたた寝してしまつた5～10分のこと。必要なくなつたモノを捨てると、「まだ使える」とゴミ袋から取り出して持ち帰つてくる。母が元気な頃は日常茶飯事で、同じ経験をしている人は少なくないだろう。ただ、片づけをするにしても「中身を確認もせずに何でも捨てるな」ということだと思つた。各種手続きは済ませたが、まだ大きな仕事が残つている。東京市場はロボティクス、フィジカルAIの新しいテーマが浮上してきた。年内相場はまだ終わつていな

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。